

日本史特殊講義5B－Ⅱ

科目ナンバリング JPH-210

選択必修 2単位

宮川 麻紀

1. 授業の概要(ねらい)

古代日本人の思想の根底にあり、天皇制の根幹を支える記紀神話について学ぶ。そのうえで、天皇による祭祀や儀礼について考察し、天皇制の歴史について習得する。また、ヤマト王権の支配体制の核となり、律令国家をも支えていく氏姓制や各氏族のあり方を考えていく。記紀神話に登場する各氏族の祖先や、日本列島に住む人々のルーツを知るための史料、東アジア諸国から渡ってきた渡来系氏族、といった様々なテーマを学んでいく。授業は基本的に講義形式であるが、講義内容から習得したことや考えたことを、論述式の中間テストやレポートで論じてもらう。古代は遠い昔でミステリアスなイメージがあるが、意外と私たちの身の回りのものやその名前にも、古代に淵源をもつものが多い。また、日本中世・近世・近現代史や外国史を学ぶ前提としても、日本古代史を学ぶしておくことは重要である。

2. 授業の到達目標

- ①日本古代史の諸テーマについて、簡潔に説明できる。
- ②各テーマについて、どのような説があるか修得する。
- ③各テーマについて、自分の力で考察できる。
- ④各テーマについて、自説を文章化することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)中間テスト 持ち込み可、論述式(到達目標①～③)40%
- (2)期末レポート(到達目標①～④)60%

4. 教科書・参考文献

参考文献

木村茂光・小山俊樹・戸部良一・深谷幸治 『大学でまなぶ日本の歴史』 吉川弘文館、2016年、1900円+税

5. 準備学修の内容

以下のような準備学修をしなければ、テストやレポートで評価を得ることが難しくなる。

- ・『大学でまなぶ日本の歴史』の指定箇所を読み、基礎的な知識を得る。
- ・授業プリントを見直し、分からない部分は各回の参考文献を読み、復習する。
- ・レポートに備えて、参考文献を自分で探しておく。

6. その他履修上の注意事項

出席状況や授業態度も評価に反映させる。

ここに挙げた以外の参考文献は、授業内で紹介する。

欠席した回のプリントを早めに入手し、テストに備えることが必須である。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
 - ・日本古代史とは
 - ・各回のテーマと評価方法の説明
- 【第2回】 講義 古事記の成立事情
 - ・古事記の材料と成立過程
 - ・天武天皇と歴史書編纂
- 【第3回】 講義 古事記と日本書紀
 - ・編者、太安万侶の生涯
 - ・古事記と日本書紀の違い
 - ・記紀の信憑性
- 【第4回】 講義 記紀神話①一國生みから天の岩屋まで―
 - ・イザナギ・イザナミ
 - ・アマテラス・ツクヨミ・スサノヲ
- 【第5回】 講義 記紀神話②一稲羽の素戔から国譲りまで―
 - ・オオクニヌシの物語
 - ・国譲りと出雲大社
- 【第6回】 講義 記紀神話③一天孫降臨から神武天皇誕生まで―
 - ・ニニギノミコトの降臨
 - ・海幸彦・山幸彦
 - ・神武誕生
- 【第7回】 講義 記紀神話④一神武東征からヤマトタケルまで―
 - ・神武東征
 - ・關史八代
 - ・神功皇后
 - ・ヤマトタケル
- 【第8回】 講義 天皇と儀礼
 - ・即位儀礼
 - ・服属儀礼
- 【第9回】 講義 氏族制の成立
 - ・氏とカバネの成立
 - ・始祖の伝承
- 【第10回】 講義 伝統的氏族の種類
 - ・渡来系氏族
 - ・門号氏族
- 【第11回】 中間テスト
 - 講義 有力氏族の台頭と衰亡
 - ・蘇我氏の出自・台頭・本宗家滅亡

- 【第12回】 講義 伝統的氏族の没落と政変
 - ・藤原氏諸家の浮き沈み
 - ・政変と大伴・佐伯氏
- 【第13回】 講義 氏上の役割と氏長者への変化
 - ・氏上の選定と役割
 - ・氏長者への変化
- 【第14回】 講義 氏族の系譜
 - ・タテ系図からヨコ系図へ
 - ・系譜の事例
- 【第15回】 講義 氏族伝承
 - ・新撰姓氏録
 - ・古語拾遺